

(2024～2025年度 国際ロータリー・テーマ)



「那珂湊反射炉跡」(ひたちなか市)

茨城県のラグビーチーム

小川 洋平 (電力)

ここ2年ほど、日立市に本拠を置くラグビーチーム「日立 SunNexus 茨城」(以下、「SunNexus」)を、茨城ロボッツ、水戸ホーリーホックと合わせ、応援しています。

2023年4月第2例会でSunNexus チームディレクター尾又様の卓話がありましたが、その前の時期に、同チーム関係者とのご縁をいただきました。私自身もかつてラグビー選手だったことや、SunNexus の母体である日立製作所ラグビー部とは30年以上前になりますが関東社会人リーグで対戦したこともあったので、ご縁をいただいて以来、ホームグラウンドの日立市会瀬スポーツ広場のオープン記念試合、毎年9月～12月に行われる公式戦(日立市市民運動公園陸上競技場等)を観戦しています。

現在の所属リーグは、国内最高峰の「リーグワン(ディヴィジョン1～3)」の直下に位置する「トップイーストリーグA」です。この階層には、地域別にトップウエストA(西日本)、トップキュウシュウA(九州)もあり、各地域リーグ上位2チームは、地域リーグ終

了後に3地域で日本一を決める順位決定戦があります。

SunNexus は2023年シーズンをトップイーストリーグBで、強みの1つであるFWの力を前面に押し出して優勝し、2024年シーズンに上位である同リーグAへ昇格しました。前述のご縁をいただいた関係者の方からは、3年以内に、3地域リーグで優勝し日本一となることを目指している、と伺っています。

2024年シーズンは、9月7日から12月7日まで全5チーム総当たり2戦ずつの計8試合を行い、3勝5敗の3位となりました。12月7日の最終戦は、ホームゲームとして東京・秩父宮ラグビー場で開催され、私も新型コロナウイルス感染が拡大して以降、久しぶりに同ラグビー場へ観戦に行きました。結果は惜敗してしまいましたが、今年度明らかになった課題を克服し、来シーズンは一段と強くなることを楽しみにしています。

茨城ロボッツ、水戸ホーリーホック、日立SunNexus 茨城の今後の一層の躍進を期待し応援していききたいと思います。

No. 25 2025・2・15

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
ホテルテラス ザ ガーデン水戸

■事務所

■会長 櫻場 誠二 ■幹事 佐藤平八郎

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



「Doing Good in the World」というのは、ロータリー財団の標語で、「世界でよいことをしよう」と訳されております。高原ガバナー補佐は、I Mのテーマとして、

「世界で、地域でよいことをしよう」というテーマを設定されました。ロータリー財団の補助金を使うプログラム活動で、5大奉仕に寄与した事例を取り上げながら説明して、みんなで考えられるような講演にしてほしいという依頼がありましたので、今回は特に大成功した事例を一つ紹介させていただきます。

ローターアクトが活躍したネパールにあるチプチプ村の持続可能な農村開発の事例です。ナラヤンガーR C（ネパール）の元会長であるラメッシュさんは、趣味のハイキングで時々チプチプ村を訪れていました。ある日、友人になった村人から自宅に招かれ、チア（お茶）をご馳走になっていると、友人の娘が大きな水がめを抱えて帰って来ました。学校へ行かないのかとラメッシュさんが聞くと、3年生までは通ったけれど、今は毎日谷底まで往復3時間かけて水汲みに行っていると言いました。何とかしてあげたいと思ったラメッシュさんがクラブの仲間に相談すると、会員たちは、チプチプ村に飲料水の設備を設置することに賛同し、グローバル補助金を活用したプロジェクトを実施したいと考えました。そこで、友好関係にある下館R Cに支援要請が来ました。下館R Cとしては、ラメッシュさんやナラヤンガーの会員たちの思いはわかるものの、現地の技術で設備は設置できるのか、本当に現地の役に立つのか、水道ができれば女の子が学校に通えるようになるのか等、もう少し詳しい情報を得たいと思っていました。そこで手を挙げたのが、つくば学園R A Cの中島雅紘さんでした。ネパールに興味を持っていた彼は、約1か月ネパールを観光しながら、チプチプ村に入りました。彼が現地で得た情報はとても貴重でした。例えば、たとえ水道が敷設されても親たちが娘たちを学校に通わせるかどうか分からないこと、水源から居住地

までの高低差は約200mあるので大きな揚水ポンプとそれを動かす電源が必要であること、住民の本音は飲料水の支援より稼ぎになるみかん畑の灌漑の支援を望んでいることなどがありました。この情報のおかげで今回の事業の質が格段に高まり、改めてローターアクトの潜在能力の高さに敬服しました。

このプロジェクトでは、谷底の集水タンク、浄水設備、山頂の貯水タンク、配管、7.5馬力揚水ポンプとソーラー発電、住宅と学校での取水場、みかん畑の散水設備を設置したほか、自然落下配管を居住地まで敷設しました。その結果、以下のような成果がありました。

- ①家で、学校で、安全な飲料水を飲むことができるようになった
- ②女子たちは日課の水汲みから解放され就学した
- ③特産品のみかんは品質・収量が上がり、収入が増えた
- ④安定した収入から自分たちで設備の保守や拡張が可能になった

さらに長期的なインパクトを考えると、今回の水の支援が、女兒のエンパワメントと住民の健康改善、収入の改善による地域経済の発展につながり、ひいてはコミュニティのガバナンスに良い変化を与え、チプチプ村の持続可能な発展につながっていくと期待しています。チプチプ村の村長も、このプロジェクトで村民の生活が豊かになり、みかん農家のポテンシャルが高まったとのことでした。

本日紹介させて頂いた奉仕活動が実行できたのは、皆様方のロータリー財団への寄付のお蔭です。ロータリーの奉仕活動は、ある時は社会、またある時はクラブに貢献しながら、自己の成長のために新たな知見や経験を深める機会になると思います。そして、奉仕活動に参加することで得たケイパビリティは、自己を、生業を、さらに発展させ、ロータリアンとして社会の持続可能な発展に寄与することができると思っています。こうしたロータリーの理念や価値を共有し日々奉仕活動に邁進されている、第3分区の皆様方に心より敬意を表します。

◇ ゲスト紹介

R I 第2820地区ガバナー 大高 司郎 氏
第3分区 I Mリーダー・パストガバナー・
地区ロータリー財団総括委員長
新井 和雄 氏
ガバナーセクレタリー 守屋 真人 氏
水戸市長代理（副市長） 小田木健治 氏
（株）ワインデマミ代表取締役 植田 真未 氏

◇ 歓迎の言葉

水戸 R C 会長 櫻場 誠二



本日は大高司郎ガバナー、
新井和雄 I Mリーダー、パスト
ガバナーの皆様、そして、
小田木副市長にもご臨席を賜
りながら、第3分区内8 R C
の多くの皆様にご参加いただ

きまして、心から歓迎と感謝御礼申し上げます。
本日の I Mにおいて、各クラブの奉仕活動の取
り組みをご報告いただきロータリアンとして地
域への奉仕活動状況を共有して、またそれぞれの
親睦をより深められればと考えております。
その為に、水戸 R Cといたしましても岡崎恵一
郎 I M実行委員長を筆頭に準備を重ねてまいり
ました。ご参加いただきました、すべての皆様
にとって有意義な I Mになるように誠心誠意水
戸 R Cといたしまして最終最後まで尽力いたし
ます。最後になりますが、各クラブの益々の発
展とご健勝をお祈り申し上げ、ホストクラブの
会長としてのご挨拶にかえさせていただきます。

◇ ガバナー補佐挨拶

第3分区ガバナー補佐 高原 裕



本日は多くの方においでい
ただきありがとうございます。
I M（Intercity Meeting）と
は都市連合会のことで、分区
単位でガバナー補佐主催で開
催し、テーマはロータリーの

ことが中心となりますが、社会での時事問題な
ども議題にしたり多岐にわたります。形式も講
演、フォーラムなど様々です。I Mは、知識を

広め深めるとともに、グループ、分区内の会員
が親睦を深め、絆が強くなることが目的です。
今回第3分区約420名中、約半分の、190名の
方にご登録いただきました。本日のテーマは
「世界で、地域でよいことをしよう」です。新
井 I Mリーダーに特別講演をお願いいたしまし
た。そして各クラブのロータリー財団地区補助
金を活用した奉仕プロジェクトの発表を通して、
会員の皆様がロータリーの活動に関心を持って
いただければと思います。また懇親会では分区
内のクラブの交流がさらに進み友好を深め楽し
く思い出に残る I Mになればと願っております。
今回の I M開催にあたり水戸 R Cの皆様には大
変お世話になりました。最後に、本日ご参加い
ただきました多くのロータリアンの皆様の益々
のご健勝ご活躍をご祈念申し上げご挨拶といた
します。

◇ ガバナー挨拶

ガバナー 大高 司郎（高萩 R C）



第3分区 I Mの開催を心よ
りお祝い申し上げます。高原
裕ガバナー補佐をはじめ、ホ
ストクラブの皆さま、そして
準備に尽力されたすべての
方々に深く感謝いたします。

また、分区内8 R Cの会員の皆さまのご参加に
敬意を表します。本日の I Mテーマ「世界で、
地域でよいことをしよう」に関連し、新井和雄
P Gによる「五大奉仕に寄与したロータリー財
団の補助金プロジェクト」の特別講演が行われ
ます。また、分区内8 R Cが地域社会で実施し
てきた奉仕事業の発表が予定されています。そ
れぞれの創意工夫や地域へのインパクトを共有
するこの機会は、新たなアイデアや気づきをも
たらすことでしょう。これらの発表が、私たち
が直面する地域課題に対する更なる取り組みを
促進し、新しい奉仕活動の可能性を広げるきっ
かけになることを願っています。今年度も残り
僅かです。クラブ目標達成に向けて、引き続き
力を合わせていただければ幸いです。本日の学
びや出会いが、新たなインスピレーションをも

たらし、持続可能で平和な社会の実現に向けた一歩となることを願っています。このような貴重な機会を通じて、各クラブがさらに強い絆で結ばれることを期待しています。

◇ 来賓挨拶

水戸市副市長 小田木健治



本日は国際ロータリー第2820地区第3分区 I Mが盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。R Cの皆様におかれましては国際親善や環境保全、青少年の健全育成など様々な分野にわたり、崇高な奉仕の精神をもって活動されておりますことに心より敬意を表しますとともに、国際社会や地域社会の発展及び福祉の向上に多大なるご貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。さて本市におきましては、今年度から水戸市第7次総合計画ーみと魁・Next プランーがスタートしました。その中で最重点とするのは、こども・子育て支援の更なる充実です。まちの未来を創っていくこどもたちをまち全体で見守り、育んでいくという機運を高めながら、将来にわたってすべての市民が安心できる暮らしを実現してまいります。また、水戸に住みたい、住み続けたいと思っていただけるよう、本市の自然や歴史・文化、スポーツ等の多様な魅力を発信するとともに、将来にわたって活力あるまちとしていくために、豊かな暮らしを実現する経済の発展に向けた政策を着実に推し進めてまいります。今後とも、R Cの皆様との熱い信頼とパートナーシップのもと、全ての市民が明るい未来を展望できる都市を目指して全力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。結びに、本日の I Mを契機といたしまして、社会奉仕の精神の更なる広がりを願いたしますとともに、国際ロータリー第2820地区第3分区の各クラブの今後ますますの発展とご参加の皆様のご活躍とご健勝をご祈念申し上げまして、挨拶といたします。

◇ 出席報告

関根委員長

会 員 数	出 席 数	欠席数	本日の出席率
125名	53名	72名	46.49%

前週訂正出席率 76.03%

◇ 会員メイクアップ

2/12 北海道 R E C 後藤 直樹

2/13 ワールド大阪 R E C 後藤 直樹

◇ 米山 B O X

(1/28扱)

荻原 武会員……米山功労者献金
(第8回) 10,000円 (累計 480,000円)

清水 洋一会員……米山功労者献金
(第4回) 10,000円 (累計 340,000円)

川崎 隆一会員……米山功労者献金
(第9回) 10,000円 (累計 190,000円)

山西 裕会員……米山功労者献金
(第2回) 10,000円 (累計 120,000円)

沼田 邦郎会員……準米山功労者献金
(第10回) 10,000円 (累計 100,000円)

酒井信之介会員……準米山功労者献金
(第7・8回) 20,000円 (累計 80,000円)

渡辺 祐子会員……準米山功労者献金
(第1回) 10,000円 (累計 10,000円)

この計	7件	80,000円
-----	----	---------



週報担当 荒川 繁美 委員長

例 会 予 告

3月11日(火)
卓話「セイバーズ 震災とスタート元年」
(株)茨城セイバーズ
代表取締役 近藤 秀則氏

3月18日(火)
— 定款第7条第1節により休会 —

3月25日(火)
卓話「インターアクト活動と
短期交換派遣学生の報告」
水城高等学校インターアクトクラブ

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……